

設 立 趣 意 書

農業では、これまで家族経営が中心だったこともあり、労務管理の意識が希薄な農業経営が多く見られます。また、労働時間などの規制が労働基準法の適用の外におかれ、労働（労災・雇用）保険や社会（健康・厚生年金）保険への加入要件が他の産業と異なっているなど、農業を取り巻く労働法規も特殊な状況にあります。

このため、農業経営の現場において、雇用や労務に関する正しい知識が広まっておらず、手探り的な対応が多く見られます。法人化した際には加入しなければならない、労働保険、社会保険への加入も進んでいません。多くの農業法人などでは、正社員であっても単純な労働力とみなされ、継続的な雇用に向けた取り組みが不足しています。

このような状況にありながら、長引く不況の影響もあり、若者を中心として農業法人への新規就業者が増加しています。しかし、就業者数に比例するように、就業してもすぐに辞めてしまう「雇用のミスマッチ」も増加しています。

今後の農業経営発展のためには、従業員を経営を支える人材として捉え、定着と育成を図ることが不可欠です。そのためには、長期にわたり従業員を雇用できる環境を整え、農業法人などがより魅力的な職場となる必要があります。農業への就職を一時のブームで終わらせないためにも、今こそ農業経営における雇用・就業環境の改善を進めなくてはなりません。

われわれは、ここに、全国の社会保険労務士が結集する場として「全国農業経営支援社会保険労務士ネットワーク」を結成することにいたしました。

このネットワークは、「雇用・労務管理の専門家集団」として、関係機関・団体などと連携しながら、農業経営での雇用・就業環境などの整備を進め、農業経営の健全な発展と従業員の働く意欲の向上に努めていきます。

われわれの活動が、農業経営に大きな活力を呼び起こすとともに、農業界の継続的な発展へ寄与することを信じてやみません。

どうか、この趣旨にご賛同いただき、皆さんの参加を心から願うものであります。

平成22年8月4日

全国農業経営支援社会保険労務士ネットワーク設立発起人会